

I 社会福祉関係諸資格

1. 社会福祉士国家試験受験資格

現代福祉学科では、社会福祉士の国家試験を受験する資格を取得することができます。

1) 社会福祉士の職務

社会福祉士は、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識および技術をもって、身体上、精神上的の障害や環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するとともに、医師や保健医療サービス提供者、その他関係者との連絡および調整その他援助を行うことを職務とします。

2) 社会福祉士資格の取得

社会福祉士になるためには、以下が必要となります。

- (1)現代福祉学科において、厚生労働省令に定める社会福祉に関する科目（以下「社会福祉士指定科目」）の単位を修めて卒業すること【**国家試験受験資格**】
- (2)社会福祉士国家試験に合格し、指定登録機関において社会福祉士登録簿に登録を受けること

3) 指定科目

現代福祉学科開講科目は、【表1】のとおり社会福祉士指定科目に対応しています。

なお、現代福祉学科では、社会福祉援助技術現場実習Ⅰ等の科目に先修制を設けているので、計画的な履修を進めてください（53ページ参照のこと）。

2. 精神保健福祉士国家試験受験資格

現代福祉学科では、精神保健福祉士の国家試験を受験する資格を取得することができます。

1) 精神保健福祉士の職務

精神保健福祉士は、精神保健福祉士の名称を用いて、精神障害者の保健および福祉に関する専門的知識および知識をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、または精神障害者の社会復帰の促進を図るための施設を利用する者の地域相談支援の利用に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを職務とします。

2) 精神保健福祉士資格の取得

精神保健福祉士になるためには、以下が必要となります。

- (1)現代福祉学科において、厚生労働省令に定める精神障害者の保健及び福祉に関する科目（以下「精神保健福祉士指定科目」）の単位を修めて卒業すること【**国家試験受験資格**】
- (2)精神保健福祉士国家試験に合格し、指定登録機関において精神保健福祉士登録簿に登録を受けること

3) 指定科目

現代福祉学科開講科目は、【表3】のとおり精神保健福祉士指定科目に対応します。

なお、現代福祉学科では、社会福祉援助技術現場実習Ⅰを履修済みでなければ、精神保健福祉援助実習が履修できません。計画的な履修を進めてください（53ページ参照）

のこと)。

【表1】 社会福祉士指定科目と現代福祉学科開講科目の対照表

指定科目等の名称	現代福祉学科開講科目の名称	セメ	履修条件
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	2	1科目以上 選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	1	
現代社会と福祉	社会福祉原論	3	必修
社会調査の基礎	社会福祉調査論	4	
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	
相談援助の理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	3	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	5	
地域福祉の理論と方法	地域福祉論	4	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	5	
福祉サービスの組織と経営	社会福祉運営管理論	5	
社会保障	社会保障論	3	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論Ⅰ	1	
	高齢者福祉論Ⅱ	2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅱ	2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童福祉論Ⅱ	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	4	
保健医療サービス	保健医療論	5	
就労支援サービス	就労支援論	6	1科目以上 選択必修
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	3	
更生保護制度	更生保護制度	6	
相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	4	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	5	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	7	
相談援助実習指導	社会福祉援助技術現場実習指導ⅠA	4	
	社会福祉援助技術現場実習指導ⅠB	5	
	社会福祉援助技術現場実習指導ⅠC	6	
相談援助実習	社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	6	

【表2】 社会福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法
 本表は、学則別表15に基づき、社会福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法について定める。

科目名	時間数	履修方法
ソーシャルワーク演習Ⅰ	30時間	演習
ソーシャルワーク演習Ⅱ	60時間	演習
ソーシャルワーク演習Ⅲ	60時間	演習
社会福祉援助技術現場実習指導ⅠA	30時間	実習
社会福祉援助技術現場実習指導ⅠB	30時間	実習
社会福祉援助技術現場実習指導ⅠC	30時間	実習
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	180時間	実習

【表3】 精神保健福祉士指定科目と現代福祉学科開講科目の対照表

指定科目等の名称	現代福祉学科開講科目の名称	セメ	履修条件
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	2	1科目以上 選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	1	
現代社会と福祉	社会福祉原論	3	必修
地域福祉の理論と方法	地域福祉論	4	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	5	
社会保障	社会保障論	3	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅱ	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	4	
保健医療サービス	保健医療論	5	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	3	
精神疾患とその治療	精神医学概論	3	
精神保健の課題と支援	精神保健学	4	
精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	精神保健福祉援助技術総論	7	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神科リハビリテーション学	5	
	精神保健福祉援助技術各論	5	
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論Ⅰ	2	
	精神保健福祉論Ⅱ	3	
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉論Ⅲ	4	
精神保健福祉援助演習（基礎）	ソーシャルワーク演習Ⅰ	4	
精神保健福祉援助演習（専門）	精神保健福祉援助演習	7・8	
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	7	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	8	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習	8	

方針	教育理念と
履修心得	履修の心得
履修心得	単位制度と
履修心得	開設方法
履修心得	履修登録
履修心得	成績評価
教育課程	教育課程の
教育課程	編成方法
教育課程	科目
教育課程	教養教育
教育課程	専攻科目
教育課程	その他
諸課程	
学修生活	
Q & A	
付録	

【表4】精神保健福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法
 本表は、学則別表16に基づき、精神保健福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法について定める。

科目名	時間数	履修方法
ソーシャルワーク演習Ⅰ	30時間	演習
精神保健福祉援助演習	60時間	演習
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	60時間	実習
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	30時間	実習
精神保健福祉援助実習	210時間	実習